

基本目標1 みんなで“支え合う” ～ほっこり暮らせるまちづくり～						達成		令和5年度評価シート	
施策5 社会保障		達成指標個数	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	【該当計画書】36～37ページ 【担当課】戸籍保険課、福祉課、長寿介護課	
		達成度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		施策指標数	5	5	5	5	5		
		目標値	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
施策5-1	介護保険事業の推進	適正な給付、サービスの質の向上、地域包括ケア体制の確立を図り、健全な介護保険制度の運営に努めます。 介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防・生活支援サービス事業、一般介護予防事業）により、高齢者の介護予防を推進するとともに、要介護状態になっても可能な限り地域で自立した生活を営むことができるよう支援します。 要介護・要支援認定に伴う、認定調査及び介護認定審査会の審査判定について、適正化及び平準化を図ります。						主な事業 ○介護予防・日常生活支援総合事業の短期集中通所等サービスの事業所や利用人数を増やし、介護予防を効果的に事業をしていく。 ○認定調査員の研修や打合せを行い、判断基準の平準化に努める。 ○介護認定審査会での審査判定の平準化をする。	
	介護予防・日常生活支援総合事業の短期集中通所等サービスの利用回数の増加（事業所や受入日数・人数の増加）	年720人回							
施策5-2	国民健康保険・後期高齢者医療	健康診査の受診促進、ジェネリック医薬品の利用促進を図るなど、町民の健康維持と医療費の適正化をめざし、保険医療制度が安定的に維持できるよう取り組みます。 健康増進イベントの実施など、健康を意識する機会を創ることで、特定健診等の受診率上昇に取り組みます。						主な事業 ○国民健康保険及び後期高齢者医療保険の加入者を対象とした健康診査を実施する。健診の実施を尾北医師会に委託し、扶桑町及び大口町の医療機関で、7月1日から10月31日まで行う。実施にあたっては、町広報紙及びHPによる受診啓発を行うとともに、人間ドックの抽選から漏れた方へは、保健センターがん検診と健康診査をセットで受診するよう勧奨を行う。なお、JA人間ドックも健康診査として委託をする。 ○第3期データヘルス計画及び第4期特定健診実施計画を策定する。5月に入札を行い、委託業者を決定する。	
	1人当たりの年間医療費	抑制							
施策5-3	国民年金	国民年金の制度を周知するため広報活動を行い、未加入者や未納者の解消に努めます。						主な事業 ○国民年金制度を周知するために、年1回、町広報紙に記事を掲載する。また、一宮年金事務所の相談員による年金相談会を、本町で4回実施する。	
	加入者納付率	80%							
施策5-4	低所得者の自立支援	相談体制の充実に努め、民間就労支援団体との連携強化を図るなどして、自立した生活を営めるよう努めます。						主な事業 ○愛知県尾張福祉相談センター、社会福祉協議会と連携し、困窮等の相談から一連に必要な支援の相談ができるようにする。 ○必要に応じて、障害福祉サービス、民間の就労支援団体との連携を図り、自立した生活ができるよう支援する。	
	相談体制の相互連携強化に向けた勉強会の開催回数	年2回							
	自立支援研修会等への参加回数	年3回							